

調布市環境基本計画

平成28（2016）年度 ▶ 令和7（2025）年度

～これまでの取組と中間見直しに当たってのポイント～

令和2年1月25日 調布市



目次

- 1 調布市環境基本計画について
- 2 調布市の現状・取組等
- 3 市民アンケート結果
- 4 中間見直しに当たって考慮すべきポイント
(市が考える現状の主な課題)
- 5 今後のスケジュール

1 調布市環境基本計画について



計画の期間

平成28年度
(2016年度)

令和7年度
(2025年度)



必要に応じて計画を見直し

社会経済情勢の変化・科学技術の進展・環境問題自体の変化

5つの基本目標

基本目標 1

豊かな緑と水や
多様な生物を
育むまち

基本目標 2

人と環境が
調和する快適で
美しいまち

基本目標 3

安心して暮らせる
生活環境が
確保されるまち

基本目標 4

低炭素で循環型
社会の形成を
目指し実現する
まち

基本目標 5

みんなの力で
より良い環境を
目指すまち

3つの重点プロジェクト

**1 市民の心の安らぎ
緑と水を守るプロジェクト**

**基本目標 1
(緑・水関連)**

の施策・事業から抽出

**2 みんなで目指す
環境先進都市プロジェクト**

**基本目標 4
(温暖化・ごみ関連)**

の施策・事業から抽出

**3 みんなが主役
環境を学んで楽しむプロジェクト**

**基本目標 5
(協働関連)**

の施策・事業から抽出

進捗状況の評価

進捗状況及びその評価は、
毎年度「環境年次報告書」
を発行して市民に公表



市ホームページアドレス

<https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1305093726571/index.html>

進捗把握及び評価

各施策に設定した「**環境指標**」の**定量評価**に、**定性評価**を加味して評価

定量評価

環境指標が、当該年度に達成すべき目標値に達しているかどうか



定性評価

当該年度における行動プロセス



評価



- ・計画どおり（計画以上）に目標を達成した。
- ・予定した取組成果が得られた。



- ・おおむね計画どおりに目標を達成した。
- ・一定の取組成果が得られた。



- ・目標達成までに至らなかった。
- ・予定した取組成果が得られなかった。

2 調布市の現状・取組等

基本目標 1

豊かな緑と水や多様な生物を育むまち



基本目標 1 調布市の現状

○水辺環境，崖線の緑，湧水，里山など豊かな自然環境が残るものの，緑は徐々に減少

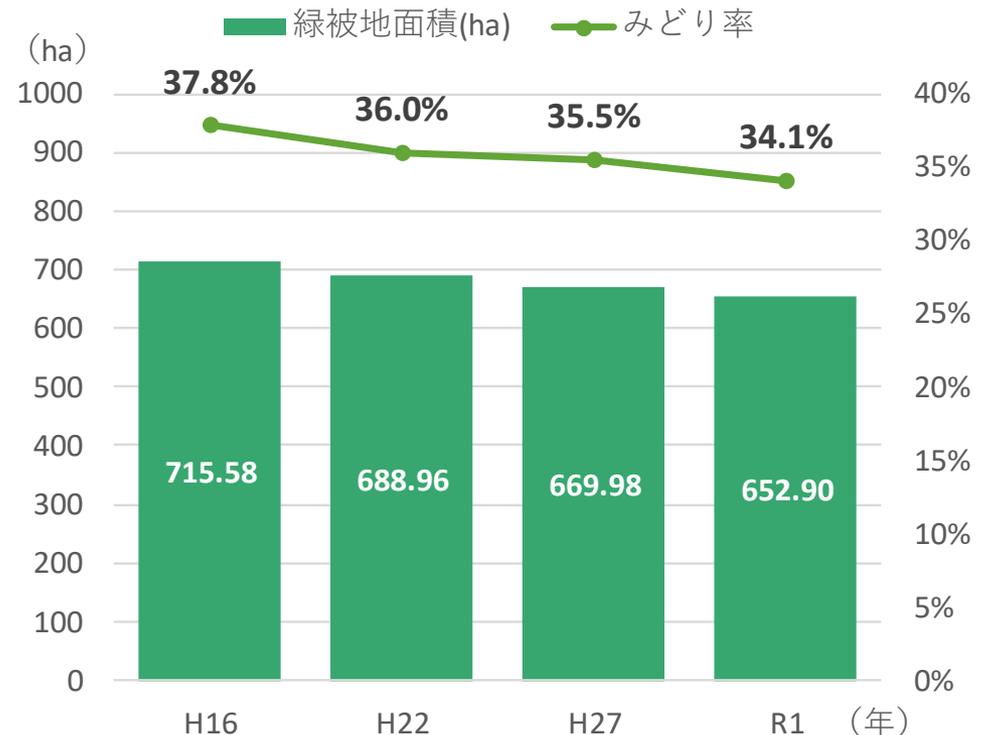
■野川の風景



■深大寺・佐須地域の里山



■緑に覆われた土地（緑被地）の面積と「みどり率」の推移



基本目標 1 施策体系

[施策の方針]

[施 策]

豊かな緑と水や
多様な生物を育むまち

1 - (1)
緑と水の
保全・再生

1 - (2)
生物多様性
の保全・活用

1 - ① 緑の保全

1 - ② 水辺環境の保全・再生

1 - ③ 里山環境の維持・保全

1 - ④ 生物の生息空間の保全

1 - ⑤ 多様な自然環境の活用

基本目標 1

指標の推移

環境指標	基準値 (基準年度)	実績値			H30時点の 評価	目標値 (目標年度)
		H28	H29	H30		
1 - ①緑の保全						
みどり率	36.0% (H22)	35.5% (H27)	35.5% (H27)	35.5% (H27)	-	36.0% (R2)
★公共が保全する 緑の面積※	146.63ha (H26)	148.91ha	149.50ha	149.16ha	○	149.85 ha (R7)
市民と協働で保全活動 を行う崖線の箇所数	5箇所 (H26)	5箇所	5箇所	5箇所	○	8箇所 (R7)

★印：重点プロジェクト指標

※指標の対象となる緑とは、市や東京都が管理する公遊園・緑地・緑道・崖線樹林地及び民間が所有する緑地に対し市が補助している保全地区を示す。

基本目標 1

指標の推移

環境指標	基準値 (基準年度)	実績値			H30時点の 評価	目標値 (目標年度)
		H28	H29	H30		
1-②水辺環境の保全・再生						
★浸透設備等の設置による雨水の浸透能力	66,828 m ³ /h (H26)	78,151 m ³ /h	82,294 m ³ /h	89,627 m ³ /h	◎	115,600 m ³ /h (R7)
1-③里山環境の維持・保全						
雑木林ボランティア講座の延べ受講者数	72人 (H26単年度)	51人	126人 (75人)	163人 (37人)	○	800人 [延べ人数] (R7)
市民と協働で保全活動を行う崖線の箇所数 (再掲)	5箇所 (H26)	5箇所	5箇所	5箇所	○	8箇所 (R7)

★印：重点プロジェクト指標

基本目標 1

指標の推移

環境指標	基準値 (基準年度)	実績値			H30時点の 評価	目標値 (目標年度)
		H28	H29	H30		
1-④生物の生息空間の保全						
自然環境調査の 実施回数	7回 (H26単年 度)	6回	12回 (6回)	19回 (7回)	◎	63回 [延べ回数] (R7)
特定外来生物（植物） 駆除活動における 対象面積	875m ² (H26)	1,750m ²	3,500m ² (1,750m ²)	5,250m ² (1,750m ²)	◎	17,500m ² [延べ面積] (R7)
1-⑤多様な自然環境の活用						
自然観察会の実施回数	7回 (H26単年 度)	7回	14回 (7回)	20回 (6回)	○	70回 [延べ回数] (R7)
自然体験学習の 参加者人数	877人 (H26単年 度)	780人	1,470人 (690人)	3,170人 (1,700人)	◎	9,000人 [延べ人数] (R7)

基本目標 1 主な課題等

雑木林ボランティア講座



基本目標 1 主な課題等

環境モニターの活動

主な活動内容

- ・ 植物調査
- ・ 鳥類観察
- ・ 自然観察会



2 調布市の現状・取組等

基本目標 4

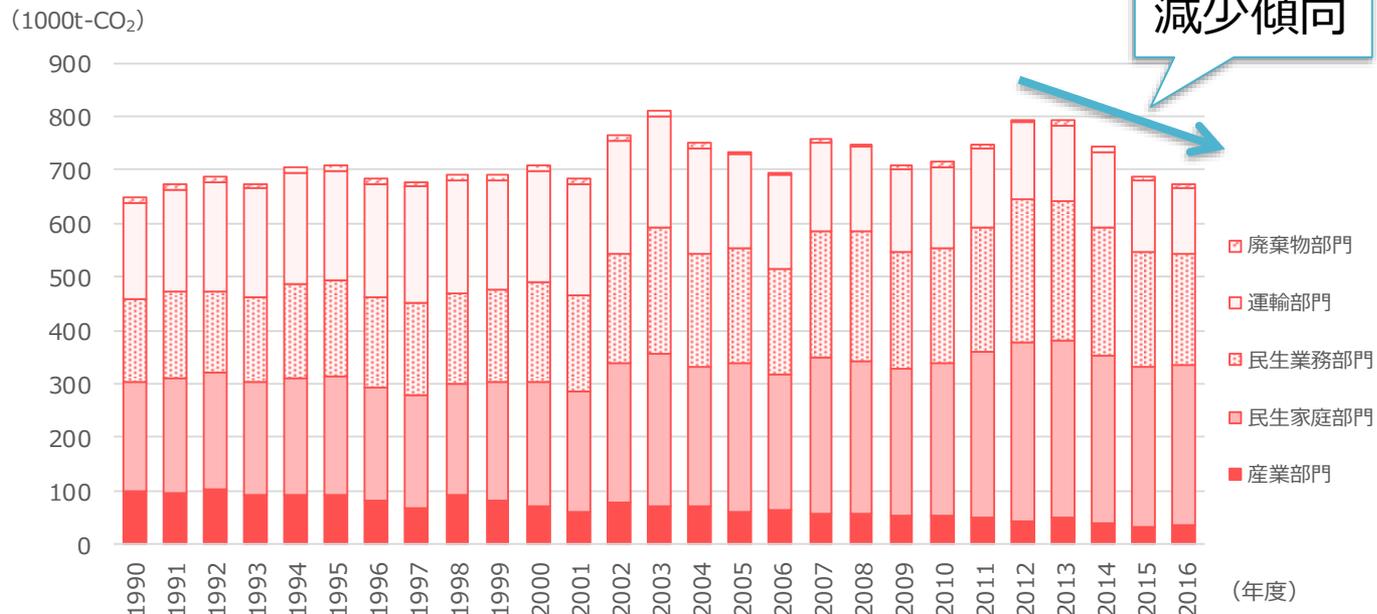
低炭素で循環型社会の形成を目指し
実現するまち



基本目標 4 調布市の現状

- 市域から排出される温室効果ガス，二酸化炭素の排出量は，ともに2012年度以降，減少傾向
- 調布市の特徴として，家庭からの二酸化炭素排出量が占める割合が44%と高い

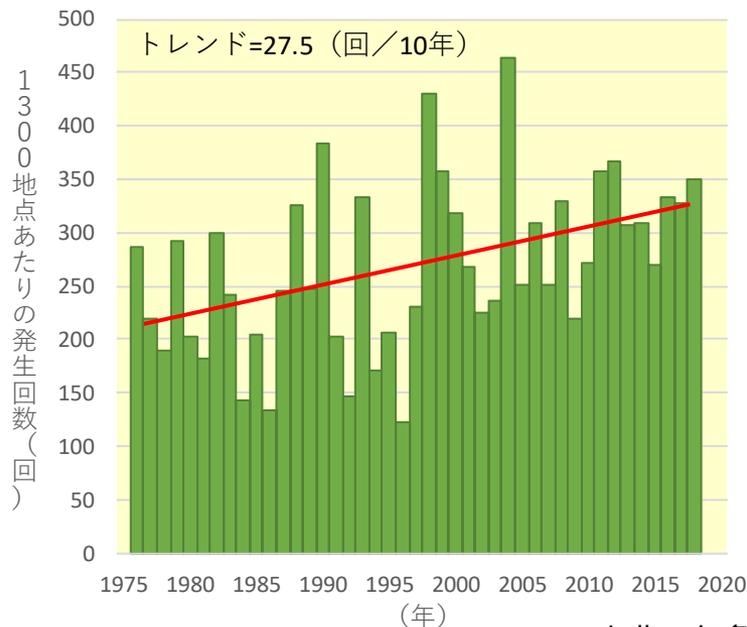
■調布市からの二酸化炭素排出量の推移



基本目標4 調布市の現状

- 気候変動による影響により、全国的に大雨の回数、猛暑日・真夏日・熱帯夜の年間日数等が増加
- 調布市においても、強大な台風による被害が発生

■全国（アメダス）の1時間降水量50mm以上の年間発生回数



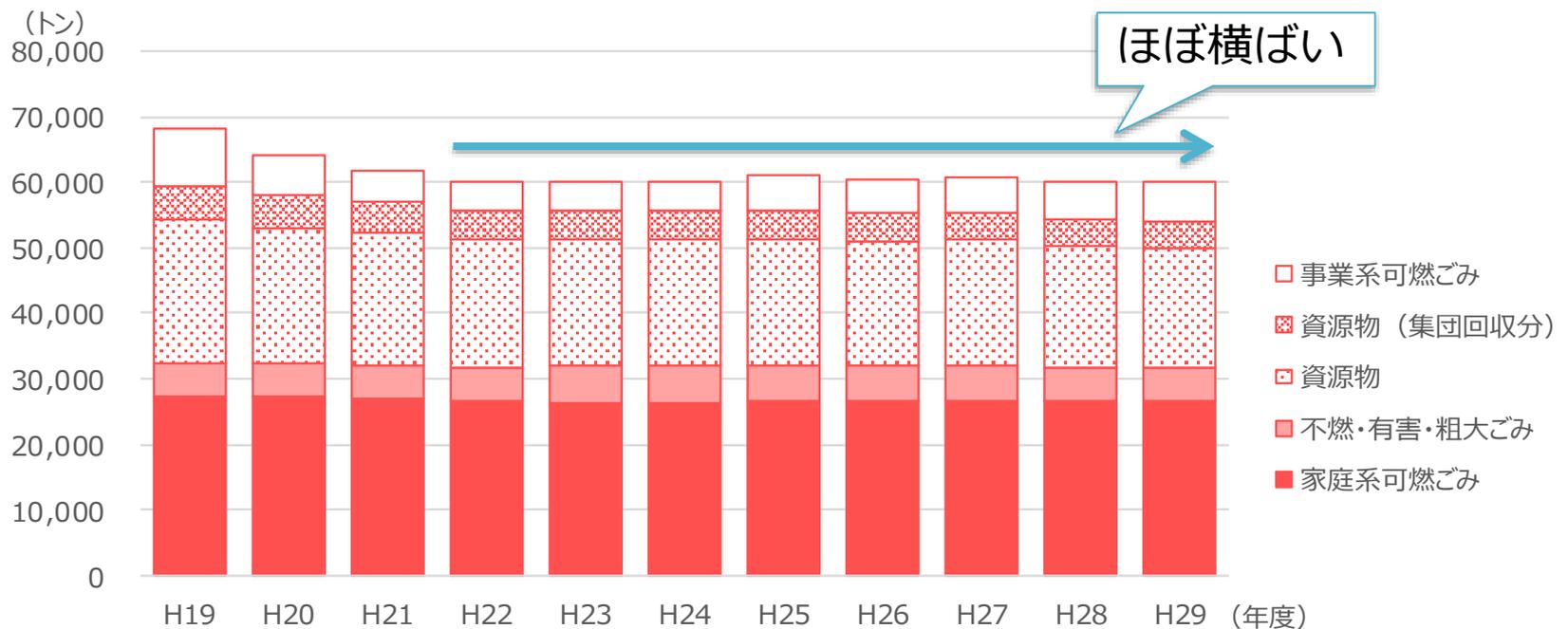
■令和元年台風19号の影響により大きな被害を受けた多摩川児童公園内のグラウンド



基本目標 4 調布市の現状

○ごみの総排出量は，ここ数年間は横ばい

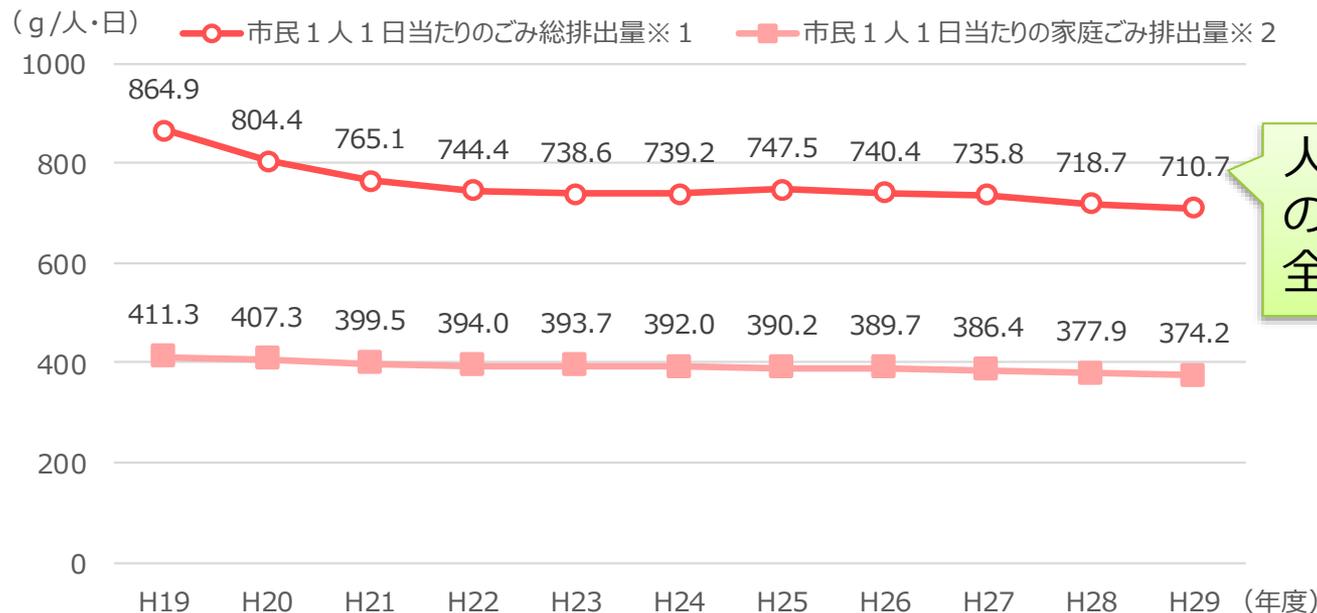
■ごみ総排出量の推移



基本目標 4 調布市の現状

○1人1日当たりのごみ排出量の少なさ，資源化率の高さは，同規模の自治体の中で全国トップクラス（平成29年度実績）

■1人1日当たりのごみ排出量の推移



※1 1人1日当たりのごみ総排出量（ごみ総排出量原単位）：ごみ総排出量÷人口÷年間日数

※2 1人1日当たりの家庭系ごみ排出量：家庭系ごみ（可燃，不燃，有害，粗大）÷人口÷年間日数

基本目標 4 施策

〔施策の方針〕

〔 施 策 〕

低炭素で循環型の社会の形成を目指し実現するまち

4 - (1)
低炭素
まちづくり
の推進

4 - (2)
循環型
まちづくり
の推進

4 - ① 省エネルギーの推進

4 - ② 再生可能エネルギー等の活用推進

4 - ③ 環境に配慮したまちづくり

4 - ④ 地球温暖化への適応

4 - ⑤ 3 R推進によるごみの減量

4 - ⑥ ごみの適正処理

基本目標 4 指標の推移

環境指標	基準値 (基準年度)	実績値			H30時点の 評価	目標値 (目標年度)
		H28	H29	H30		
4-①省エネルギーの推進						
市役所から排出されるCO₂の削減 (市役所の事務事業(市役所を構成する組織が管理する施設及び車両)が対象)	14,859 t-CO ₂ (H26単年度)	14,856 t-CO ₂	15,667 t-CO ₂	14,555 t-CO ₂	○	13,343 t-CO ₂ (R7)
街路灯のLED化 (街路灯をLED化した道路整備距離数)	0m (H26)	337m	1,177m (840m)	1,177m (0m)	○	1,380m [延べ距離数] (R7)
市域から排出される温室効果ガス排出量 【参考指標】(オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」において算出・公表。数値は2年遅れの公表となる。)	829 kt-CO ₂ (H24)※	793 kt-CO ₂ (H26)	740 kt-CO ₂ (H27)	732 kt-CO ₂ (H28)	○	705kt-CO ₂ (R5)※

※ オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」において算出・公表している数値を使用しており、2年遅れで数値が確定することから、基準年度と目標年度は他の環境指標と異なる。

基本目標 4 指標の推移

環境指標	基準値 (基準年度)	実績値			H30時点の 評価	目標値 (目標年度)
		H28	H29	H30		
4 - ②再生可能エネルギー等の活用推進						
★補助要綱に基づく 補助金交付対象となった 太陽光発電システムの 公称最大出力※1	367.88 kW (H26)	280.36 kW	400.37 kW (120.01kW)	562.53 kW (162.16kW)	○	2,520 kW [延べ出力] (R4)
補助要綱に基づく 補助金交付対象となった 家庭用燃料電池の助成件数 ※2	105件 (H26)	173件	307件 (134件)	516件 (209件)	◎	700件 [延べ件数] (R4)
公共施設に設置した 太陽光発電システムの 公称最大出力	993.8 kW (H26)	993.8 kW	1001.34 kW	1,030.31 kW	◎	1,043.5 kW (R7)

★印：重点プロジェクト指標

※1 補助要綱：調布市太陽光発電設備等取付け等工事費補助金交付要綱（平成25年要綱第29号）

※2 補助要綱：調布市地球温暖化対策住宅用機器購入費補助金交付要綱（平成23年要綱第85号）

基本目標 4 指標の推移

環境指標	基準値 (基準年度)	実績値			H30時点の 評価	目標値 (目標年度)
		H28	H29	H30		
4 - ③環境に配慮したまちづくり						
みどり率 (再掲)	36.0% (H22)	35.5% (H27)	35.5% (H27)	35.5% (H27)	-	36.0% (R2)
市域から排出される 温室効果ガス排出量 【参考指標】 (再掲) (オール東京62市区町村共同事業 「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」 において算出・公表。数値は 2年遅れの公表となる。)	829 kt-CO ₂ (H24)※	793 kt-CO ₂ (H26)	740 kt-CO ₂ (H27)	732 kt-CO ₂ (H28)	○	705kt- CO ₂ (R5)※

※ オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」において算出・公表している数値を使用しており、2年遅れで数値が確定することから、基準年度と目標年度は他の環境指標と異なる。

基本目標 4 指標の推移

環境指標	基準値 (基準年度)	実績値			H30時点の 評価	目標値 (目標年度)
		H28	H29	H30		
4 - ④地球温暖化への適応						
浸透設備等の設置による雨水の浸透能力 (再掲)	66,828 m ³ /h (H26)	78,151 m ³ /h	82,294 m ³ /h	89,627 m ³ /h	◎	115,600 m ³ /h (R7)
地球温暖化に係る 情報提供数	25回 (H26単年 度)	32回	33回	29回	◎	28回 (R7)

基本目標 4 指標の推移

環境指標	基準値 (基準年度)	実績値			H30時点の 評価	目標値 (目標年度)
		H28	H29	H30		
4-⑤ 3 R 推進によるごみの減量						
★市民一人一日当たり の家庭系ごみ排出量	374.2 g/人日 (H29)※	377.9 g/人日	374.2 g/人日	370.8 g/人日	◎	360 g/人日 (R4)※
4-⑥ ごみの適正処理						
最終処分量 (埋立量)	0 (H29)※	0	0	0	○	0 (R4)※
総資源化率	43.5% (H29)※	44.2%	43.5%	43.2%	◎	43% (R4)※

★印：重点プロジェクト指標

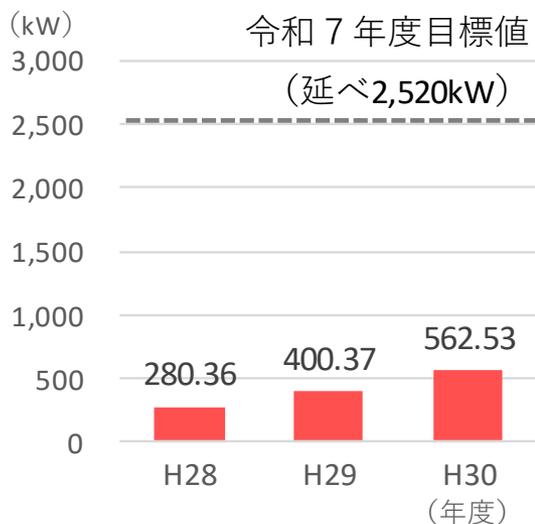
※ 調布市基本計画及びその他の個別計画等により定められた指標等を本計画に活用したのものについては、活用した計画が改定等された時点で、本環境指標についても見直しを行っている。

基本目標 4 主な課題等

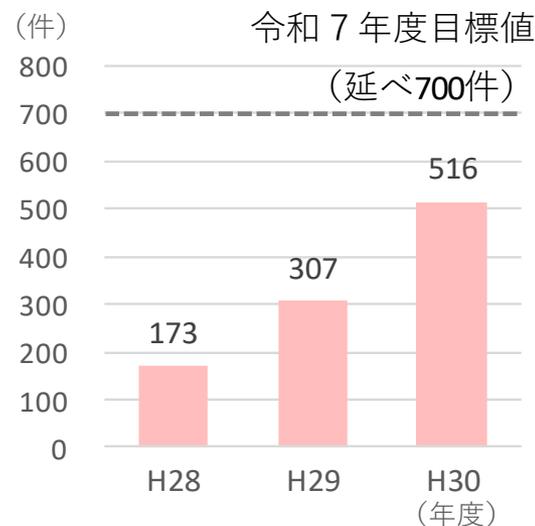
家庭における省エネ型機器の普及啓発（補助金交付）
住宅における太陽光発電システム等の導入に対する
普及啓発（補助金交付）

重点プロジェクト2

補助金交付対象となった
太陽光発電システムの
公称最大出力



補助金交付対象となった
家庭用燃料電池の
助成件数

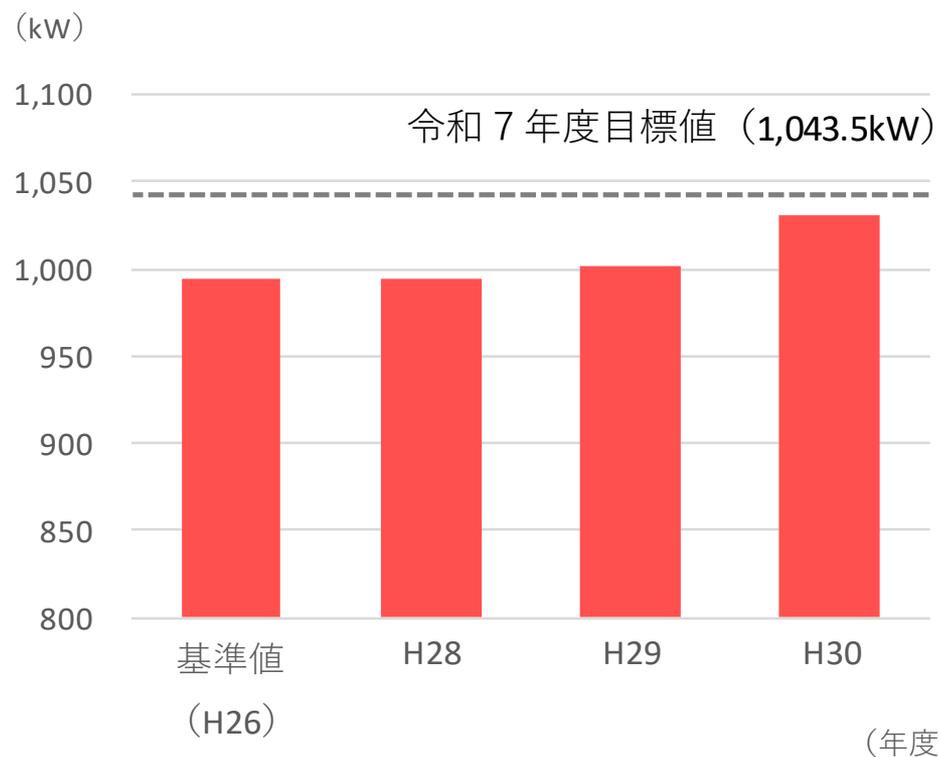


基本目標 4 主な課題等

公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業

重点プロジェクト 2

公共施設に設置した太陽光発電システムの
の公称最大出力



基本目標 4 その他取組

暑熱対策の実施

飛田給駅
パーゴラ・微細ミスト



調布駅前広場
遮熱性舗装



出典：東京都環境局HP